

サセボエ ヨロブン チャル ブタッカムニダ!

(佐世保の皆さん、よろしくお願いします)

アンニョンハセヨ。私は韓国坡州市から佐世保市に派遣されて来た鄭燦龍です。坡州市と佐世保市とは職員相互派遣協定を結んでおり、私は坡州市からの初めての派遣職員となります。坡州市では自治行政局徴収課で会計業務を担当していました。

日本には妻の仕事の都合で9カ月くらい滞在したことがあり、その時に日本語や日本文化を少し勉強しました。佐世保は海や山など自然に恵まれていて、食べ物もおいしいので、とても気に入っています。

趣味はフルーツで週2回練習しています。最近ではウォーキングもしているので、見かけたら「アンニョンハセヨ」と声を掛けていただきたいと思います。

日本では、まず日本語と佐世保弁をしっかりと勉強して、それから坡州市の産業や観光、環境などをPRし、坡州市のイメージと認知度を高めていきたいと思います。

そして、佐世保市の優れた行政、観光産業、産業構造などを研究して両市の発展に寄与できるように努力したいと思っていますので、佐世保の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

国際政策課 ☎24-1111



韓国語で「佐世保の皆さん、よろしくお願いします」と書いたボードを持つ鄭さん

ゆめ市場「キトラス」がリニューアルオープン!

5月23日(木)、長崎、佐世保、雲仙の3市合同アンテナショップ「キトラス」(福岡市博多区)がリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは物販ゾーンが約1.5倍に拡大。地酒や食材など本市の特産品の品ぞろえもさらに充実されました。施設内に新たにオープンした「キトラス食堂」では、3市の食材を使った定食やスイーツなどをランチタイムやカフェタイムに提供し、お客さまに大好評です。福岡にお越しの際には、新しくなったキトラスにぜひお立ち寄りください。

【キトラス】

福岡市博多区上川端町12-20

☎092-292-5906

観光物産振興局 ☎24-1111



(上)新しくなった物販ゾーンの一部
(下)キトラス食堂で人気の「佐世保定食」。オープンの日にはビーフシチューがメイン料理でした。

人の動き 6月1日 現在

- 総人口 257,474人(-123人)
男性 120,889人(-86人)
女性 136,585人(-37人)
- 世帯数 105,897世帯(+14世帯)
- ※5月中の動き
転入 569人、転出 607人
出生 199人、死亡 284人

させぼ市政だより

- テレビ (毎週土曜)
NBC・NIB→9時25分~30分
KTN・NCC→11時40分~45分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分
FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせぼ 火曜10時30分~35分
日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

重点政策への対応について② ~任期中間点における進捗状況~



2 石木ダム建設促進等による水源確保

政権交代に伴う「できるだけダムに頼らない治水」への方針転換のため、本事業も検証の対象となり、事業主体である長崎県を検証主体として検証の作業を実施し、国に「事業の継続」を報告しました。その後、国の有識者会議において審議され、昨年6月には、国から「継続」の対応方針が示されました。

昨年度、国庫補助の要件である5年ごとの再評価に臨み、第三者等への意見聴取を「佐世保市上下水道事業経営検討委員会」に諮問を行い、事業継続の答申を受け、国に報告しました。そのことを受け、本年度の補助内示を受けました。

また、平成21年11月に話し合い促進のため、「事業認定申請」を行って以来、これまで手続きに進展が見られませんでした。本年3月に公聴会が実施され、今後も手続きが進捗していくと期待しています。

ダム検証に約3年の時間を費やし、事業の進捗が遅れましたが、ようやく動き始めました。本年は事業認定の判断がなされるなど大切な時期です。市民の皆さまには引き続きご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

3 中学校給食の完全実施や小・中学校施設の耐震化など、教育、文化、スポーツ振興と施設の充実

①平成24年度までに給食センターを建設し、全中学校で完全給食を実施

東日本大震災の影響で国庫補助の決定が遅くなり、工事着工が遅れましたが、本年5月に給食センター建築工事は竣工。本年9月から全中学校で完全給食を実施します。

②小・中学校校舎等の耐震化工事(平成27年度まで)

平成23・24年度の実績は次のとおりです。
・小学校校舎9棟、体育館13棟
・中学校校舎9棟、体育館5棟、武道館1棟
今後も耐震度が低い順に計画的に実施し、平成27年度までに完了する予定です。

③長崎がんばらんば国体開催準備と施設の充実

平成23年8月に「長崎がんばらんば国体佐世保市実行委員会」を設立し、国体開催に向け、総会、常任委員会、4つの専門委員会を設け、準備を進めています。競技会場となる各施設(総合グラウンド庭球場、総合グラウンド野球場、吉井野球場、千鳥越野球場)の改修と東部スポーツ広場体育館新築工事もほぼ終了し、リハーサル大会(本年6~9月)が開催できる状況に整備しました。

4 各地域のまちづくりの推進

①中心市街地のまちづくりの推進

栄・常盤地区再開発事業については、栄南地区は完成し、栄北地区、常盤北地区も順調に工事が進められています。今夏から店舗や高齢者施設、医療施設などが開業される予定であり、(仮称)福祉活動プラザや中央公民館講座室なども順次開設される予定です。

常盤南地区の中央公民館講堂、子ども発達センター、駐車場などの工事が間もなく着工され、来年度中に全ての供用開始が予定されています。

②地域核の形成

早岐地区においては、早岐駅周辺整備事業のうち、稗田第一踏切はすでに着手されており、東西連絡通路や東口広場、公衆トイレの整備についても今後着手が予定されています。早岐保育所跡地(東部住民センターの隣接地)を駐車場に整備し、今後は地区公民館図書室として利活用できるよう改修工事に着手します。

相浦地区においては、相浦支所、地区公民館などの複合施設建設計画に着手しました。

③合併地域まちづくり計画及び過疎地域自立促進計画の推進

合併地域まちづくり計画に基づく事業は着実に実施しています。吉井・世知原地区の計画期間終了は平成26年度末、宇久・小佐々地区は27年度末、江迎・鹿町地区は29年度末までとなっており、計画期間内の新市の一体化を促進するとともに、過疎自立促進計画に基づく過疎債の活用を中心に推進しています。

④斜面密集市街地モデル地区事業の推進

次の事業を推進しています。

矢岳・今福地区

建物調査、道路整備、建物補償、用地買収交渉、先行取得分の買い戻し

戸尾・松川地区

建物調査、道路整備、建物補償、用地買収交渉、先行取得分の買い戻し

福田・中通地区

建物調査、建物補償、用地買収交渉、先行取得分の買い戻し

東山地区

建物調査、道路整備、建物補償、用地買収交渉、先行取得分の買い戻し

※重点政策(全9項目)の残りの項目については、次号以降にお知らせします。

佐世保市長 朝長 則男